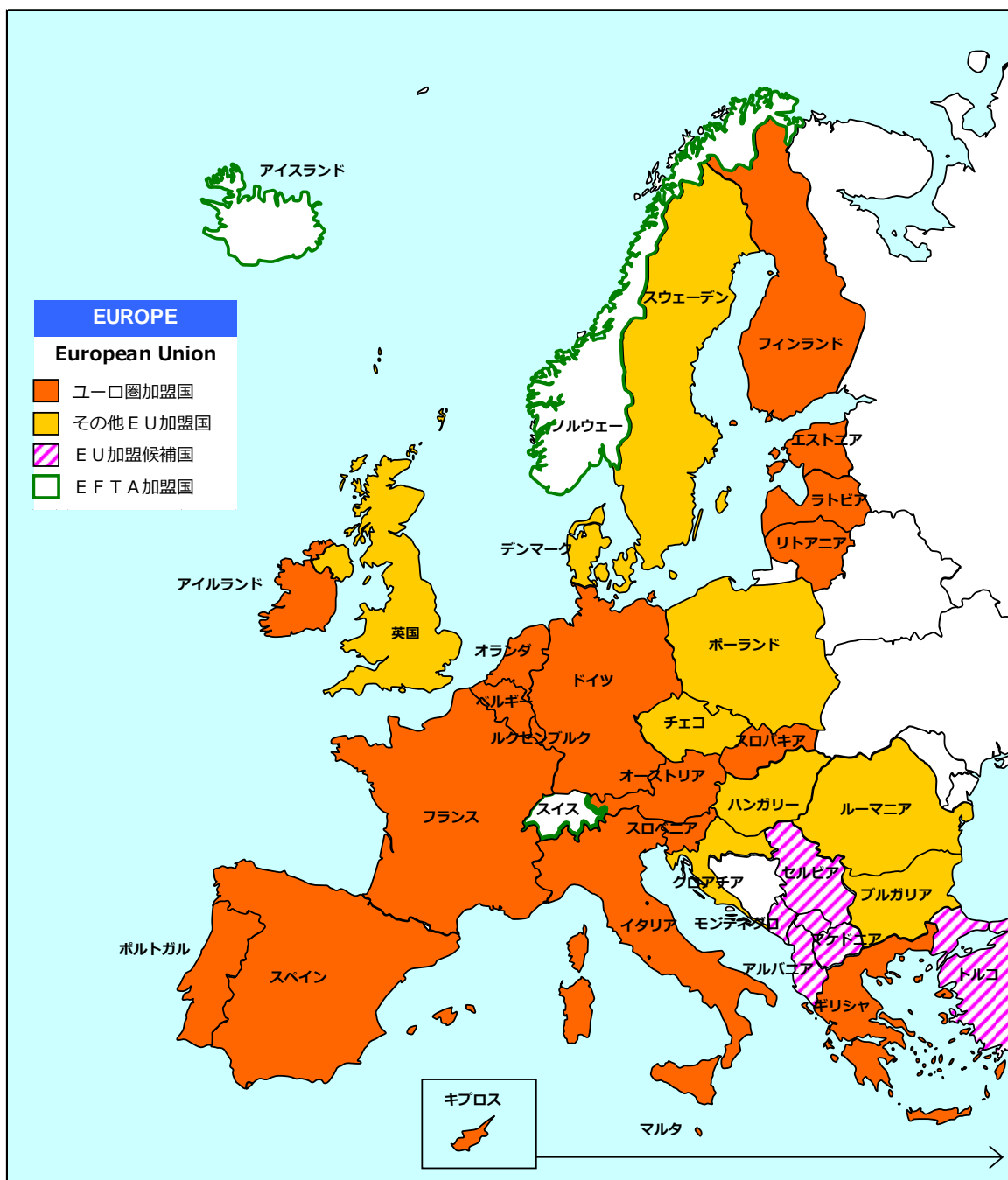


欧州経済アップデート (2016.4)

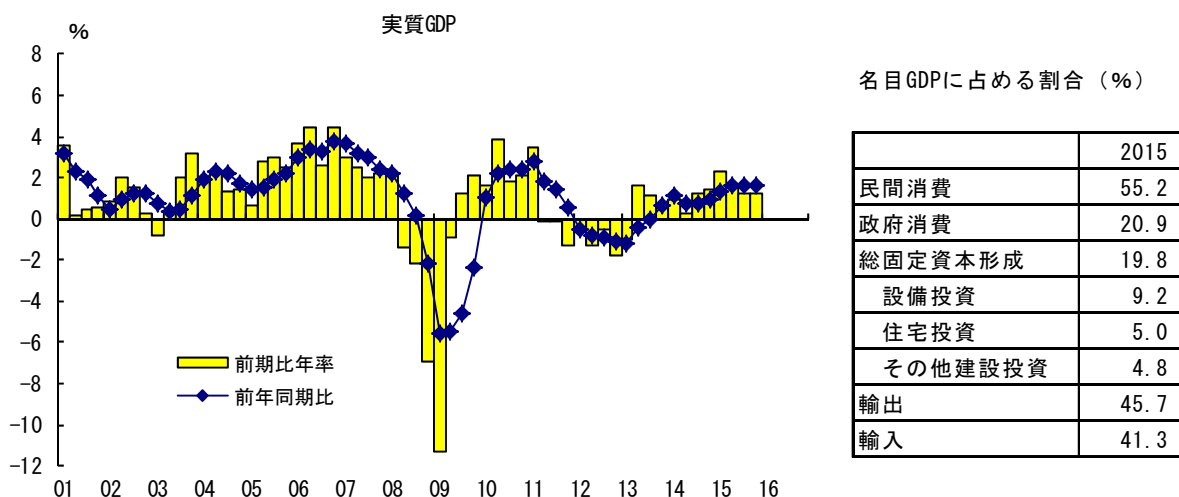
経済調査部
研究員 新居 真紀



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 15年Q4の成長率は前期比+0.3%であったが、加盟国のうちドイツは同+0.3%、フランスは同+0.2%となり、スペインや中東欧諸国の一部が両国を上回る成長率となった
- 欧州中央銀行（ECB）は3月に16年通年の成長率予想について+1.4%と15年12月時点の+1.7%から下方修正した。個人消費が引き続き景気回復を下支えするとしている
- 16年Q1の成長率（速報値）は5月13日（金）に発表される予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4
実質GDP	-0.2	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.6	0.4	0.3	0.3
個人消費	-0.3	0.2	0.3	0.2	0.0	0.2	0.4	0.5	0.5	0.3	0.5	0.2
政府消費	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.5	0.3	0.3	0.6
総固定資本形成	-1.9	0.8	0.9	0.3	0.4	-0.5	0.5	0.5	1.4	0.1	0.4	1.3
設備投資	-1.3	1.0	1.3	1.2	0.4	0.5	1.1	0.6	1.9	1.1	0.8	1.6
住宅投資	-2.3	0.6	0.4	-0.8	0.7	-1.6	0.2	0.4	1.0	-0.5	0.2	0.8
その他建設投資	-2.6	0.6	0.7	-0.4	0.3	-1.1	-0.2	0.3	1.1	-1.4	-0.2	1.4
輸出	0.3	1.3	0.5	1.1	0.8	1.0	1.6	1.2	1.4	1.7	0.2	0.2
輸入	0.2	1.1	1.3	0.5	1.2	1.1	1.5	1.2	2.1	1.0	1.2	0.9

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

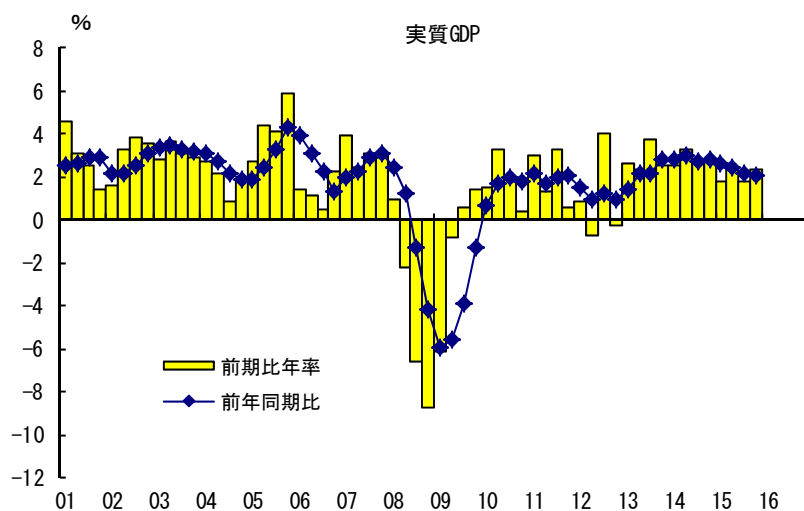
	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4
実質GDP	-0.25	0.40	0.28	0.19	0.23	0.05	0.31	0.36	0.57	0.39	0.30	0.31
個人消費	-0.14	0.10	0.16	0.10	0.01	0.09	0.23	0.30	0.25	0.17	0.28	0.12
政府消費	0.01	0.02	0.04	0.04	0.04	0.04	0.07	0.03	0.10	0.06	0.07	0.12
総固定資本形成	-0.38	0.16	0.18	0.06	0.09	-0.09	0.10	0.09	0.29	0.02	0.09	0.27
設備投資	-0.12	0.10	0.13	0.12	0.04	0.05	0.10	0.06	0.19	0.12	0.08	0.16
住宅投資	-0.12	0.03	0.02	-0.04	0.04	-0.08	0.01	0.02	0.05	-0.03	0.01	0.04
その他建設投資	-0.13	0.03	0.04	-0.02	0.01	-0.06	-0.01	0.02	0.05	-0.07	-0.01	0.07
在庫変動	0.22	0.02	0.23	-0.29	0.25	0.03	-0.20	-0.15	0.18	-0.22	0.26	0.11
輸出	0.12	0.54	0.21	0.49	0.34	0.44	0.71	0.56	0.63	0.77	0.11	0.11
輸入	-0.08	-0.42	-0.52	-0.20	-0.49	-0.45	-0.60	-0.47	-0.87	-0.41	-0.49	-0.40
純輸出	0.04	0.12	-0.31	0.28	-0.15	-0.01	0.12	0.09	-0.23	0.36	-0.38	-0.29

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

*このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 15年Q4の成長率（3次推計）は前期比+0.6%と2次推計の同+0.5%から上方修正された
- 需要項目のうち、総固定資本形成が前期比-0.1%から同-1.1%に大きく下方修正されたものの、純輸出のマイナス寄与度が同-0.43%ptから同-0.28%ptに縮小した
- 15年通年の成長率は+2.3%と0.1%pt上方修正された



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4
実質GDP	0.7	0.6	0.9	0.6	0.6	0.8	0.7	0.7	0.5	0.6	0.4	0.6
個人消費	0.5	0.1	0.9	0.7	0.5	0.8	0.5	0.5	0.8	0.8	0.5	0.6
政府消費	-0.7	0.8	0.6	0.2	1.1	0.8	0.3	-0.3	0.4	0.7	0.7	0.3
総固定資本形成	-0.5	1.9	3.0	2.1	0.6	2.6	1.8	0.1	1.5	1.3	0.4	-1.1
政府部門	0.3	-4.9	6.8	-1.0	9.4	-11.4	7.8	2.3	1.1	-2.6	-0.3	-3.5
企業部門	0.5	1.8	1.8	2.6	-3.4	6.6	0.0	-0.1	2.9	0.7	1.3	-2.0
民間住宅投資	0.1	7.9	1.6	1.0	4.7	1.8	3.7	-0.5	-0.1	4.0	-2.3	1.2
輸出	1.9	3.3	-0.8	-2.9	0.9	1.2	0.4	3.8	-0.1	2.8	-0.5	0.1
輸入	-0.7	3.3	0.1	1.8	-1.1	-0.5	2.0	2.8	3.5	-2.5	2.9	0.9

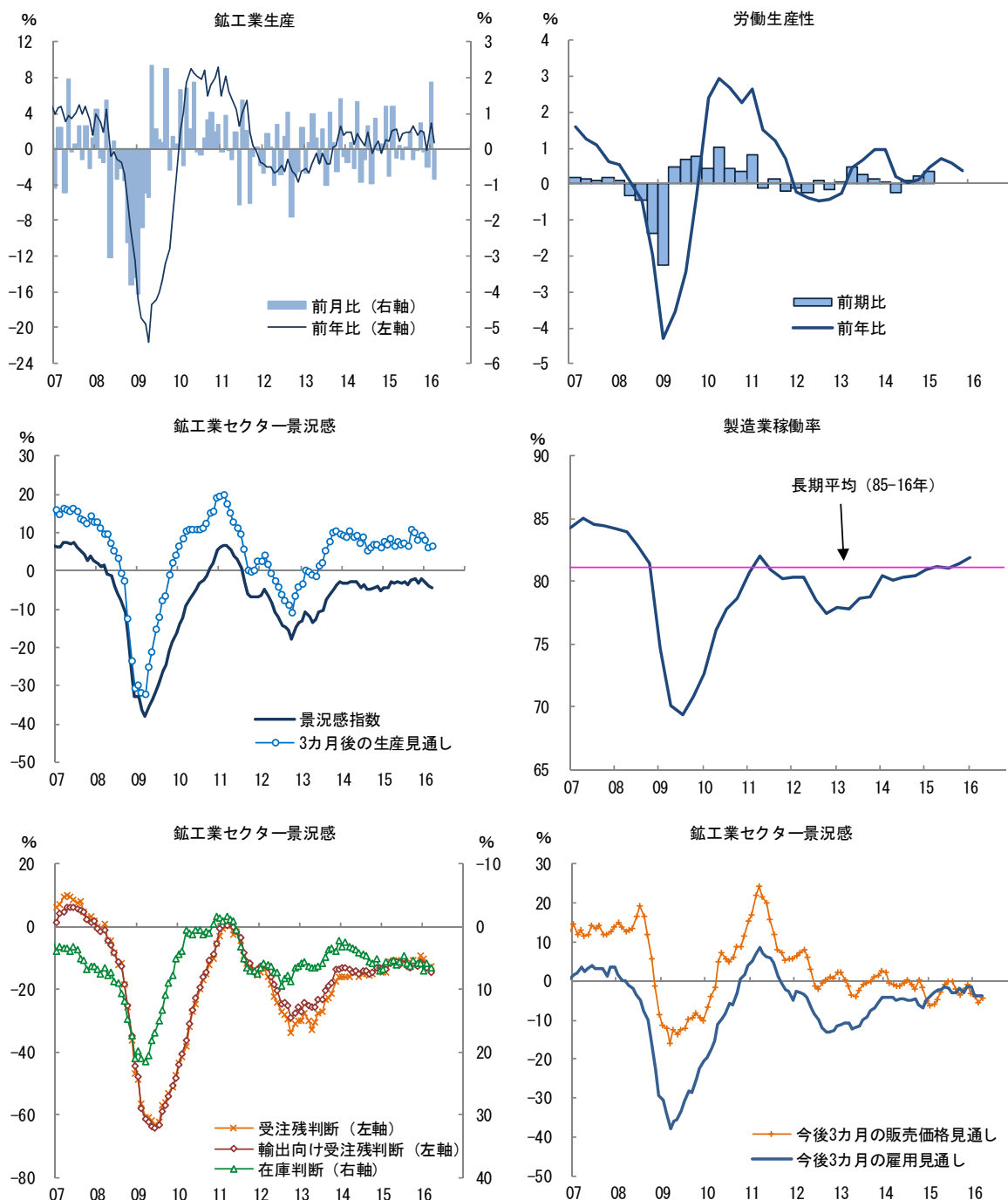
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3	15Q4
実質GDP	0.66	0.59	0.92	0.64	0.64	0.80	0.66	0.67	0.46	0.60	0.45	0.59
個人消費	0.30	0.05	0.55	0.46	0.34	0.50	0.33	0.34	0.54	0.52	0.31	0.39
政府消費	-0.14	0.17	0.12	0.05	0.23	0.16	0.05	-0.07	0.08	0.15	0.14	0.06
総固定資本形成	-0.08	0.30	0.49	0.35	0.10	0.44	0.31	0.02	0.26	0.23	0.06	-0.19
政府部門	0.01	-0.13	0.17	-0.03	0.24	-0.32	0.19	0.06	0.03	-0.07	-0.01	-0.09
企業部門	0.04	0.16	0.17	0.25	-0.32	0.60	0.00	-0.01	0.28	0.07	0.13	-0.19
民間住宅投資	0.00	0.24	0.05	0.03	0.15	0.06	0.12	-0.02	0.00	0.14	-0.08	0.04
在庫変動	-1.03	0.15	0.05	1.22	-0.70	-0.81	0.51	0.22	0.70	-2.04	0.89	0.43
輸出	0.56	0.97	-0.24	-0.86	0.27	0.35	0.12	1.09	-0.04	0.82	-0.15	0.02
輸入	0.22	-1.05	-0.04	-0.57	0.37	0.16	-0.64	-0.91	-1.14	0.85	-0.95	-0.30
純輸出	0.79	-0.08	-0.28	-1.43	0.64	0.51	-0.52	0.18	-1.18	1.67	-1.09	-0.28

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 2月の鉱工業生産は前月比 -0.8% と15年1月以来の減少幅となり、前年比も $+0.8\%$ と前月から伸びが鈍化した
- 3月の鉱工業セクター景況感は85年以降の長期平均を上回っているものの、3カ月連続で悪化した。構成項目のうち、在庫判断が悪化した
- 16年Q1の製造業稼働率は2期連続で長期平均を上回り、緩やかながら上昇している

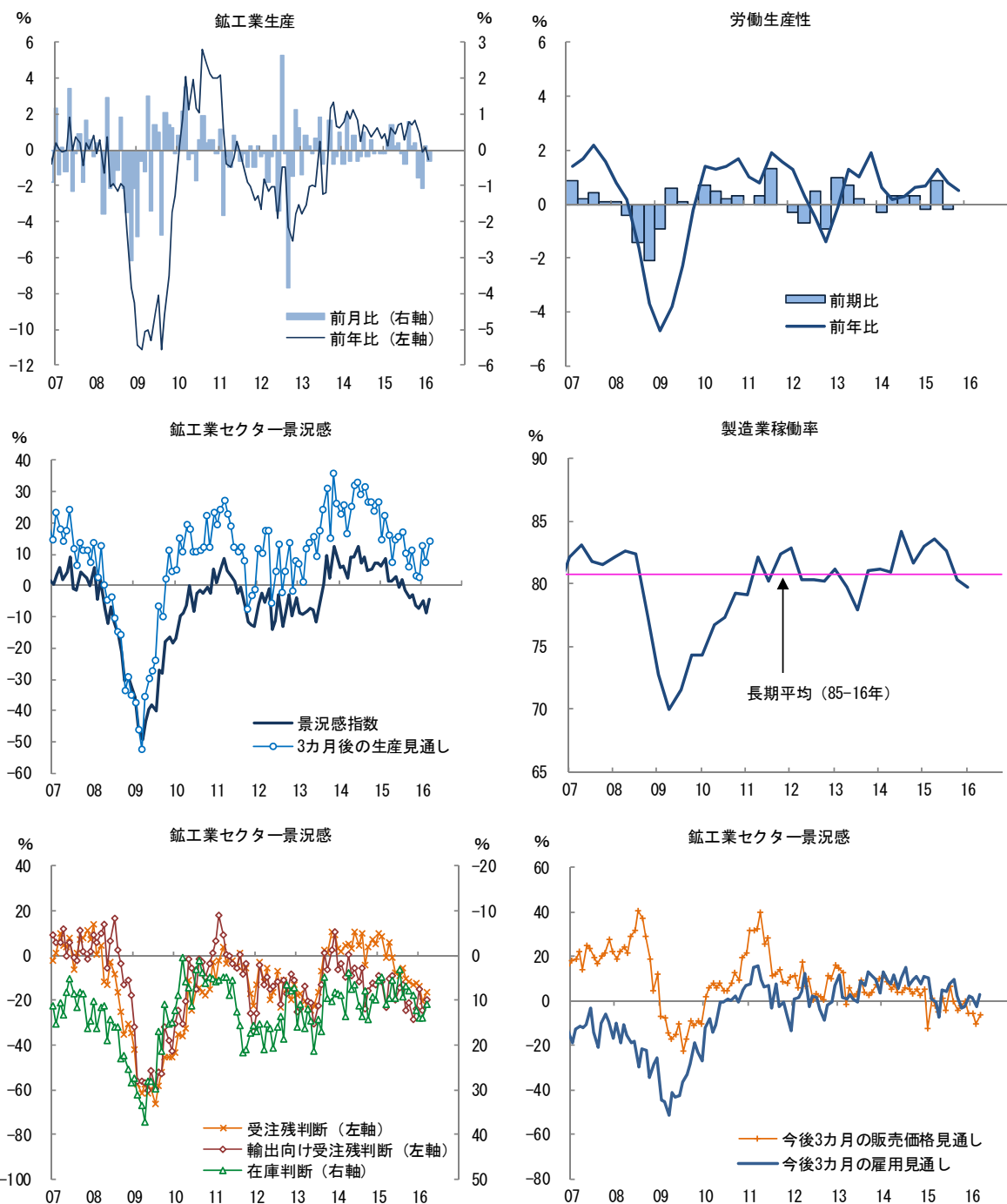


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 2月の鉱工業生産は前月比 -0.3% 、前年比 -0.5% といずれも減少した
- 3月の鉱工業セクター景況感は前月から改善した。受注残判断、在庫判断、生産見通しの全ての構成項目で改善がみられた
- 3月の鉱工業セクターの輸出向け受注残と販売価格見通しは揃って改善したものの、いずれも85年以降の長期平均を下回ったままである

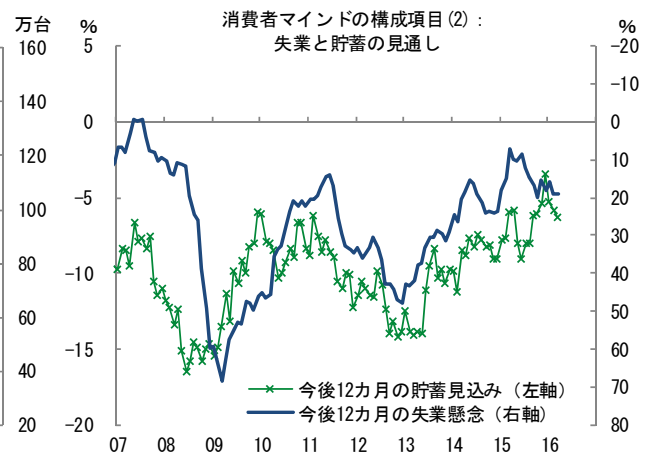
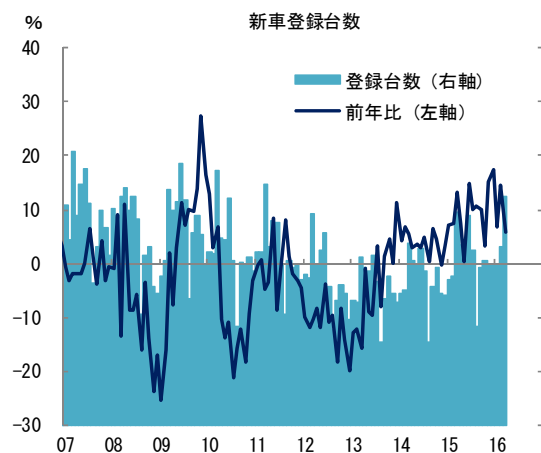
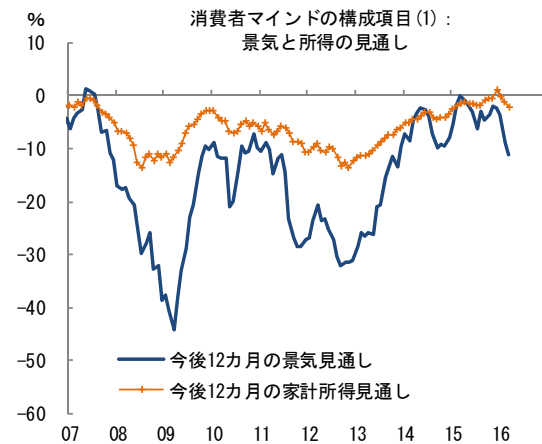
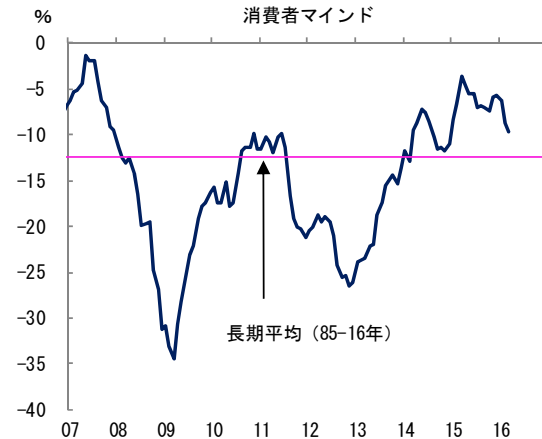
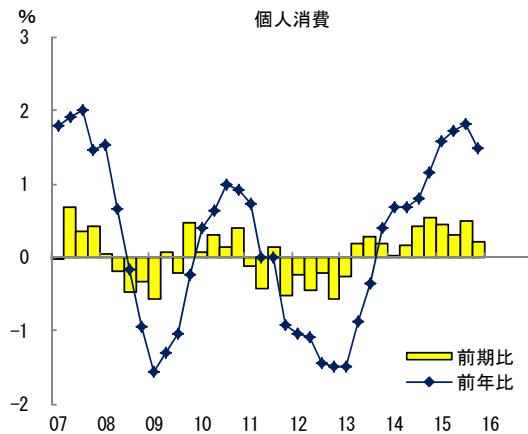


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 3月の消費者マインドは85年以降の長期平均を上回る水準を維持しているものの、3カ月連続で悪化
- 2月の小売売上高は前年比+2.4%と前月から小幅に加速した
- 3月の新車登録台数は前年比+5.8%と前月の伸びから大きく鈍化した

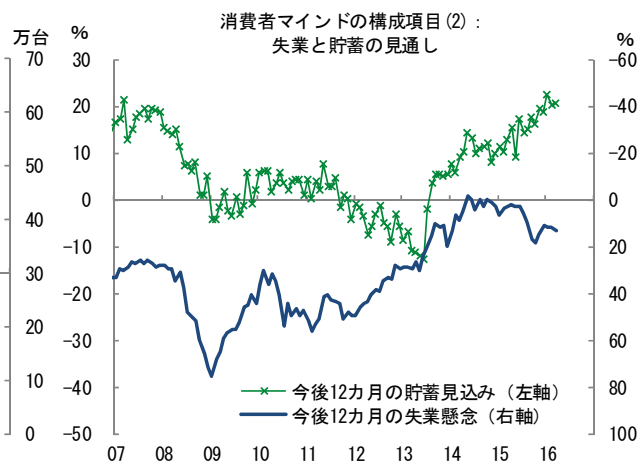
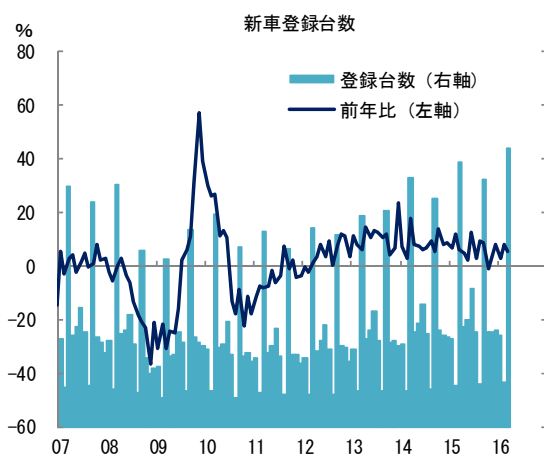
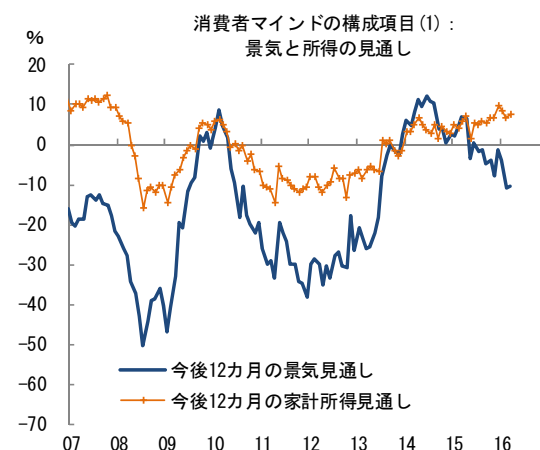
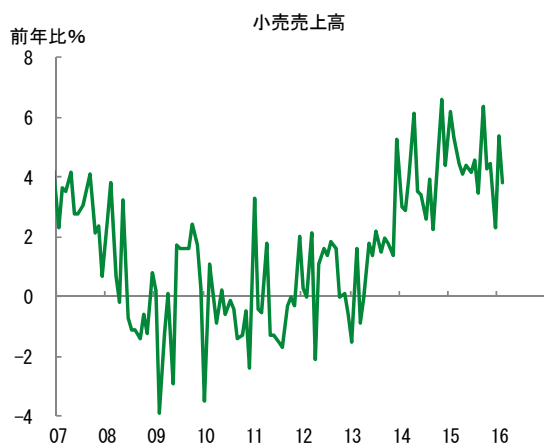
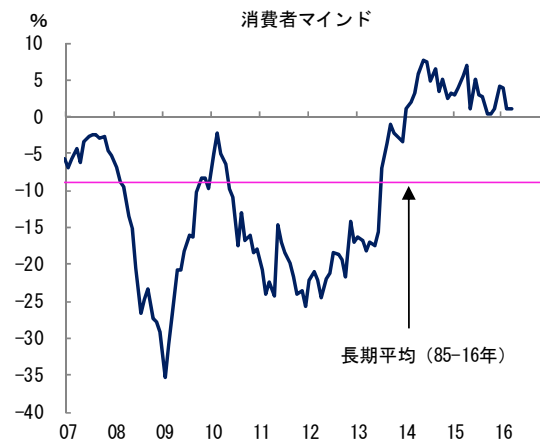
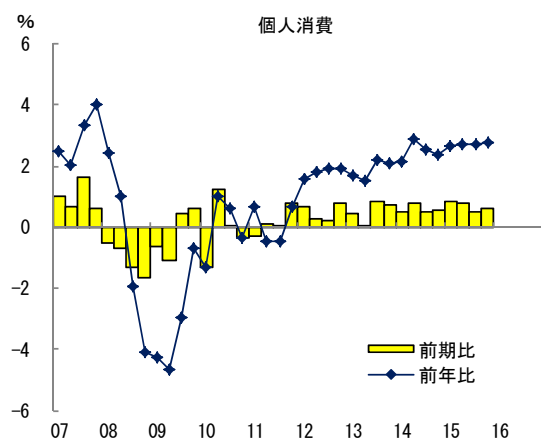


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 3月の消費者マインドは3カ月連続で悪化している
- 直近3カ月間の構成項目の動きをみると、景気見通し及び失業懸念の悪化が目立つ
- 3月の新車登録台数は前年比+5.3%と前月の伸びから鈍化した

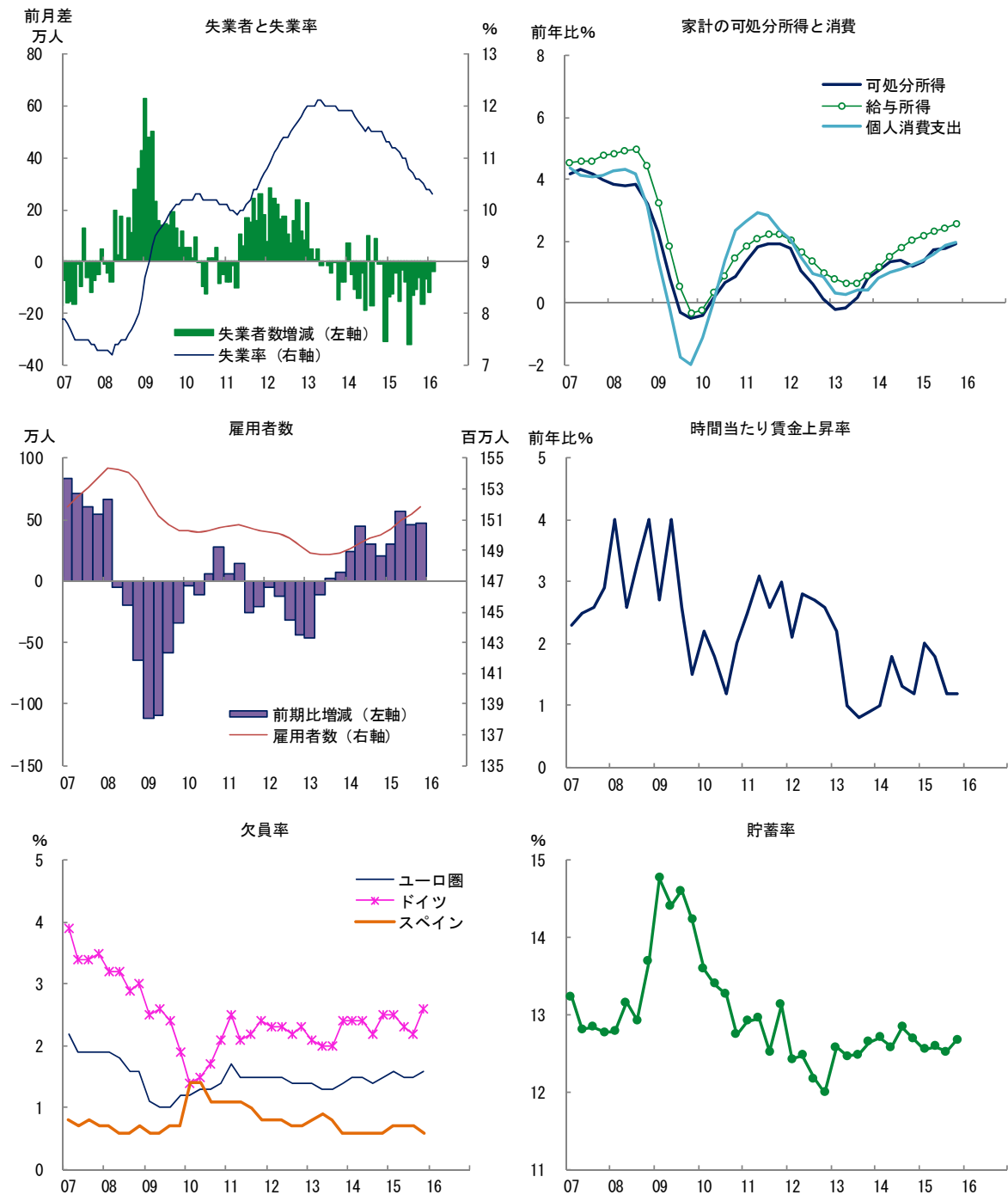


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 2月の失業者数は前月から3.9万人減少し、失業率は10.3%と一段と低下した
- 15年Q4の可処分所得、給与所得、個人消費支出の伸びは揃って小幅に加速した
- 15年Q4の貯蓄率は12.7%と前の期からやや上昇した

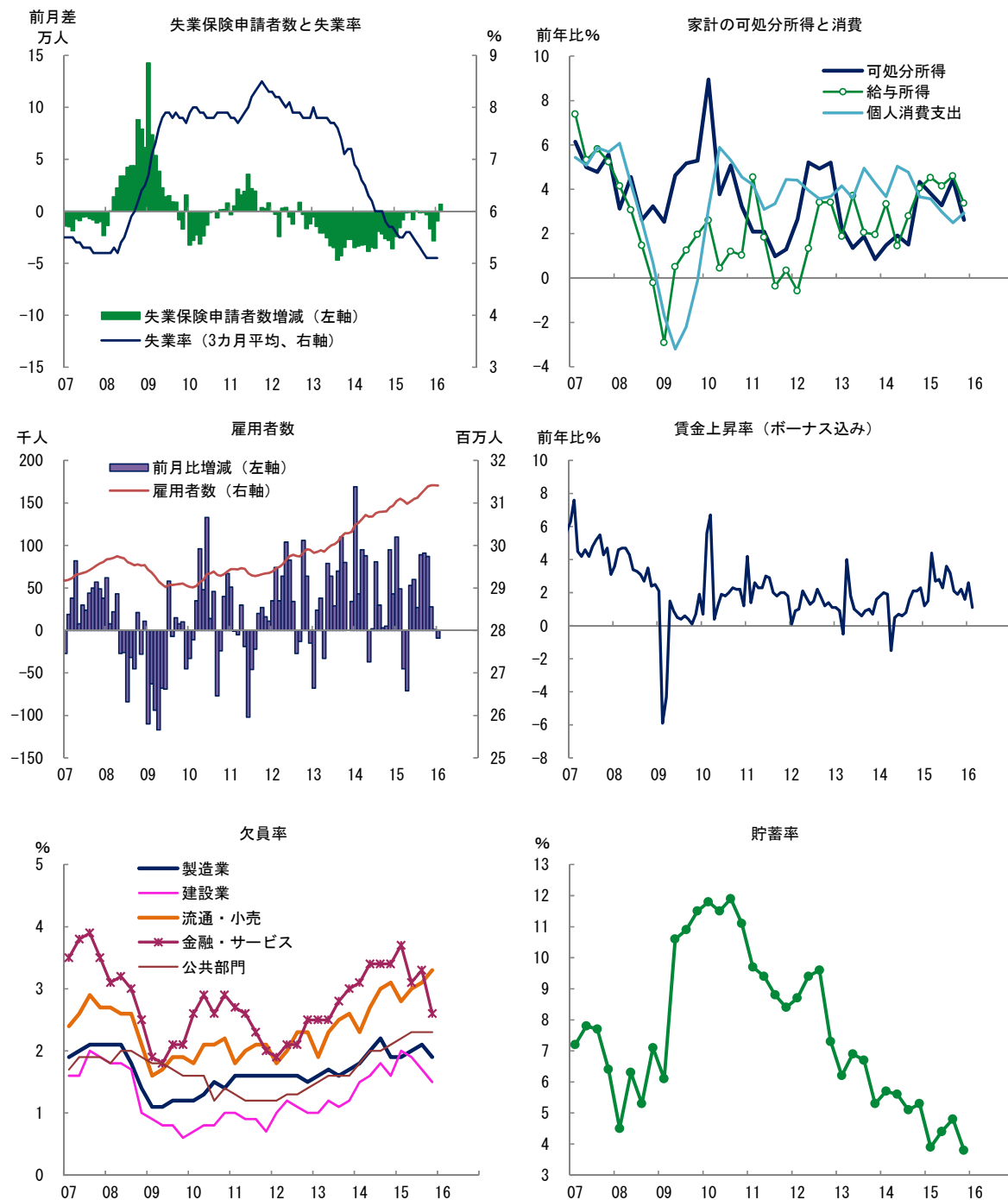


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 15年12月-16年2月の失業率の平均は5.1%と、4カ月にわたって05年年末以来の低水準が続いている
- 一方、3月の失業保険申請者数は前月から7,000人増え、7カ月ぶりの増加となった
- 2月の賃金上昇率（ボーナス込み）は前年比+1.1%と、14年8月以来の低い伸びとなった

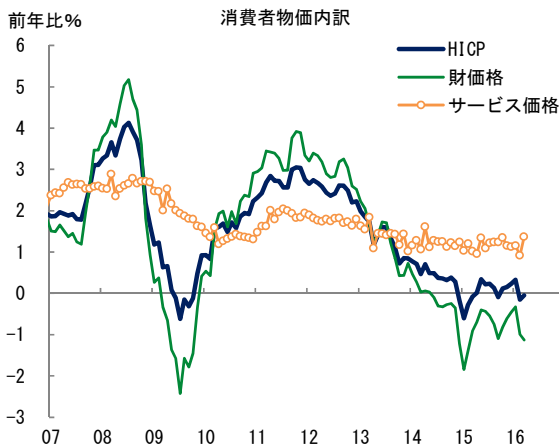
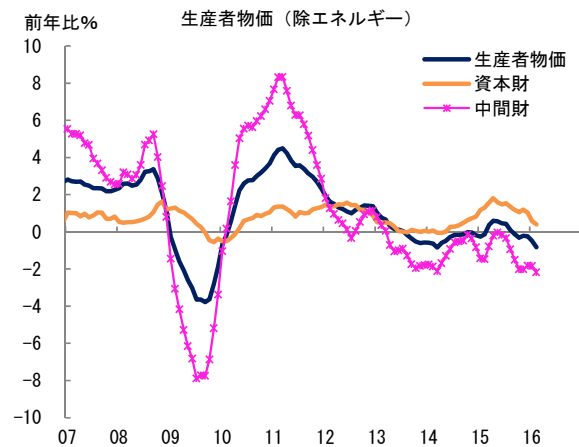


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

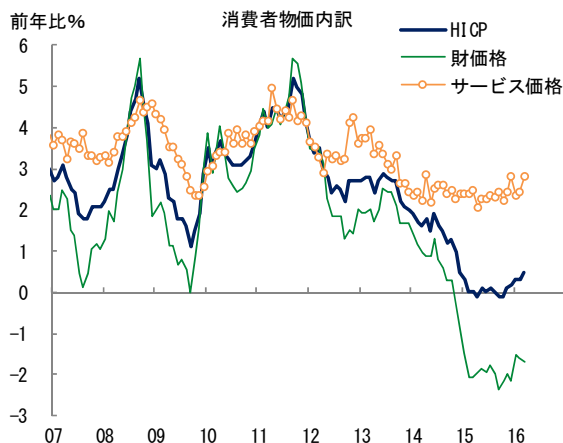
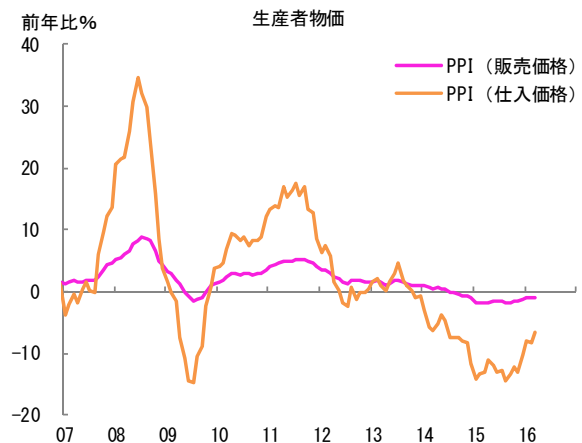
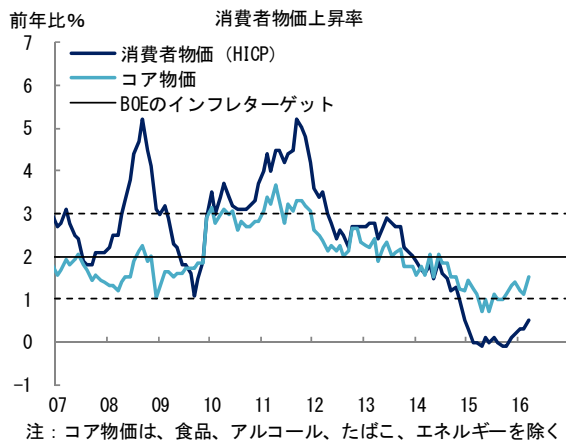
- 3月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比0.0%と、マイナス圏を脱した
- 特にサービス価格の上昇率が同+1.4%と大きく寄与した
- 一方、原油価格（北海ブレント）は下落基調が続いてきたが、3月は1バレルあたり38.2ドルと2カ月連続で上昇した



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

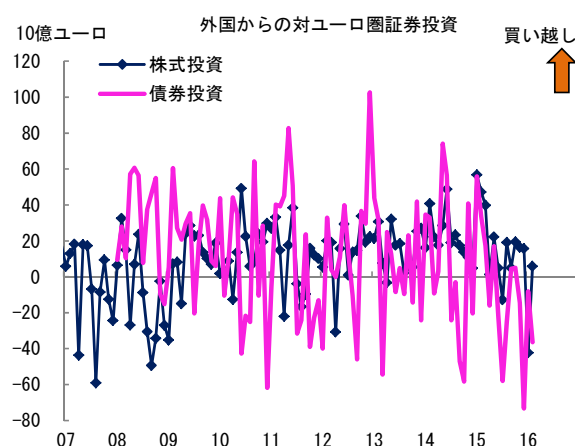
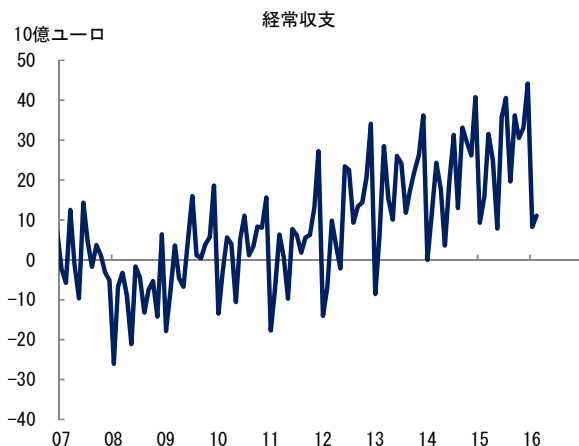
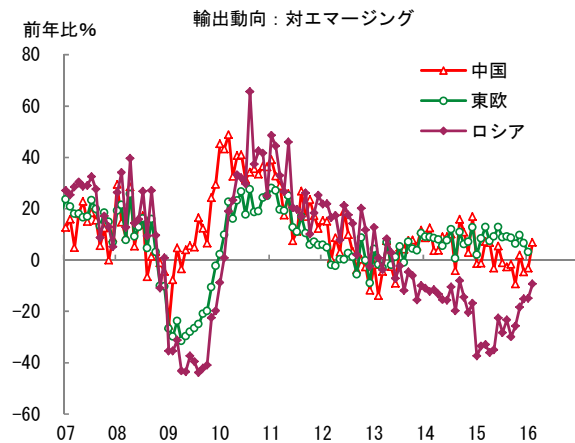
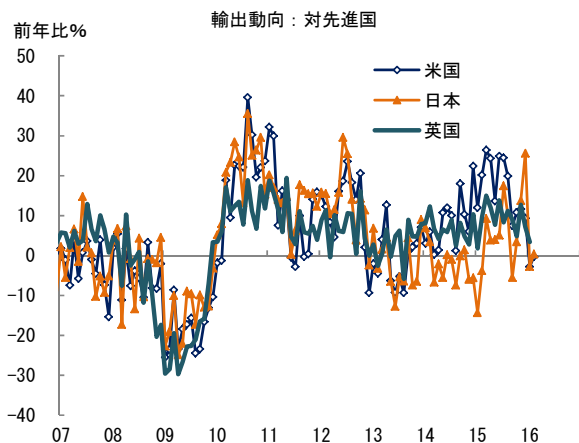
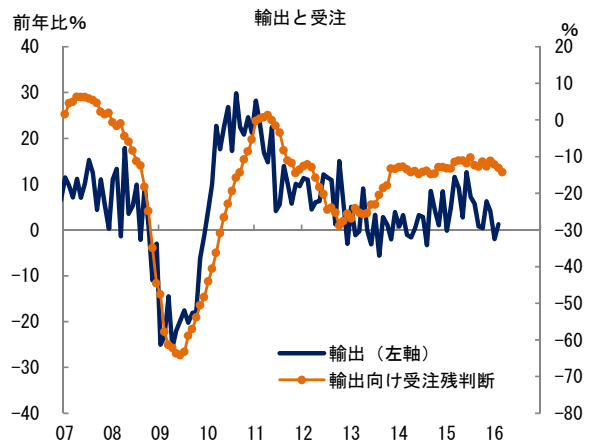
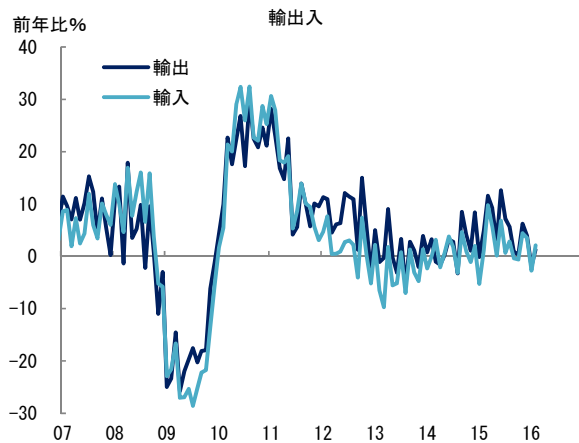
- 3月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.5%、コア物価上昇率も同+1.5%といずれも前月から上昇ペースが加速した
- 特に、航空運賃と衣料品価格の上昇が消費者物価の上昇に寄与した
- ポンドの名目実効為替レートが12月以降下落していることが、輸入物価上昇率の下落幅を縮小させているとみられる



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

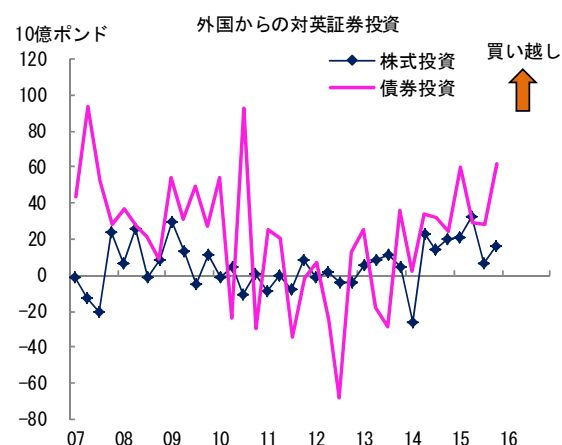
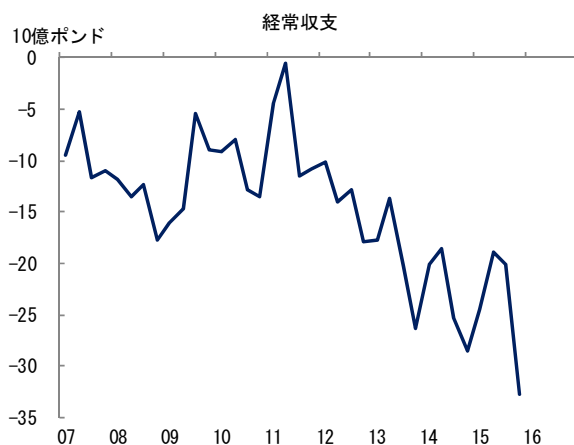
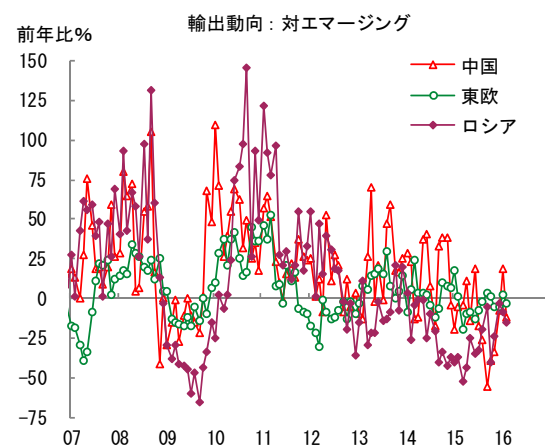
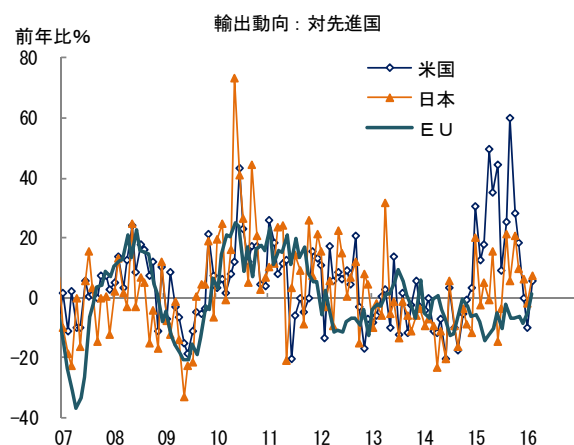
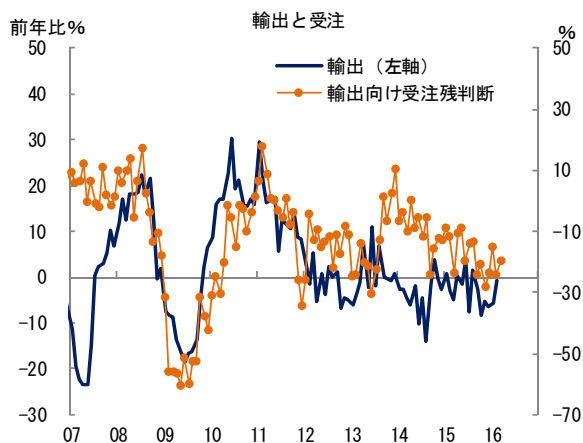
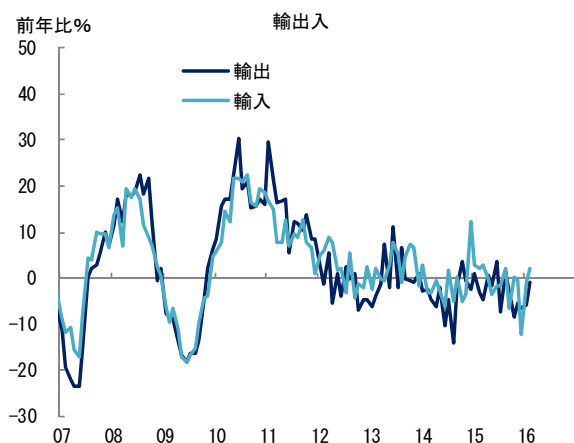
- 2月の輸出は前年比+1.3%、輸入も同+2.1%と共に2カ月ぶりに増加に転じた
- 2月の輸出を国別にみると、米国向けが2カ月連続の減少、一方中国向けは3カ月ぶりに増加に転じた
- 2月の外国人投資家によるユーロ圏への証券投資をみると、株式投資が2カ月ぶりに買い越しに転じた一方、債券投資は売り越し額が前月から拡大した



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 2月の輸出は前年比-0.8%と前月から減少幅は縮小したものの、15年9月以来前年割れが続いている
- このうち、米国、EU、日本向けの輸出が揃って増加に転じたが、中国向けは2カ月ぶりの減少となった
- 2月の輸入は前年比+2.1%と4カ月ぶりに増加した



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成